

令和8年度 後期 121 数学 I (1)

- 1 使用教科書 「改訂版 新数学 I」(東京書籍)
- 2 使用学習書 「新数学 I」(NHK 出版)
- 3 使用教室 406 教室 (1, 2, 5, 6, 9, 10 組の生徒) ・ 405 教室 (3, 4, 7, 8, 11, 12 組, 併修, 特科の生徒)
- 4 提出期限・面接指導実施日等

No.	提出期限	学習内容	高校講座	教科書ページ	学習書ページ	面接指導実施日	
1	9 月 30 日(水)	2 章 2 次関数 1 節 2 次関数とそのグラフ	11 回	p74~p81	p62~p67	9/17	9/24
2	10 月 14 日(水)	2 章 2 次関数 1 節 2 次関数とそのグラフ	12 回	p82~p87	p68~p76	10/4	10/5
3	11 月 4 日(水)	2 章 2 次関数 1 節 2 次関数とそのグラフ	13 回	p88~p90	p77~p86	10/22	11/1
4	11 月 18 日(水)	2 章 2 次関数 2 節 2 次関数の値の変化	14 回	p92~p95	p87~p89	11/8	11/12
5	12 月 2 日(水)	2 章 2 次関数 2 節 2 次関数の値の変化	16 回 17 回	p96~p97	p90~p92	11/29	11/30
6	12 月 16 日(水)	2 章 2 次関数 2 節 2 次関数の値の変化	19 回	p98~p101	p93~p94	12/6	12/14

※高校講座・・・NHK 高校講座関連番号

5 面接指導出席時の注意

- ① 開始時刻に遅れて入室した場合、出席は認められません。
- ② 面接指導や校内でのルール、教員の指示を守れない場合、出席は認められません。
- ③ 携帯電話等の使用や私語、飲食等はできません。
- ④ 居眠りやレポート作成などの行為があった場合、出席は認められません。

6 レポートについて

- ① 教科書・学習書・プリント等をよく見て自分で考えて解いてください。他の生徒のレポートを写すことや、他人にレポートを完成させること(代筆)は厳禁です。再提出または不合格など厳しい指導があります。
- ② 期限までに提出してください。面接指導に積極的に出席し、レポート作成の参考にしましょう。
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」の問題はレポートの点数には含まず、別に評価します。未記入でも不備にはなりませんが、成績評価の一部になります。
- ④ 提出期限までに受付されたレポートで、解答が教科・科目の指示に従っていない場合や、評価が 5 9 点以下の場合は再提出になります。再提出の期限は提出期限の 2 週間後の 16:00 までです。
- ⑤ レポート提出の際、空欄がないように注意してください。空欄が 3 つ以上あった場合は不備となり、受付されず返却されます。
- ⑥ レポートに氏名バーコードシールを貼り、レポートのおもて・うらの全体が確認できる PDF ファイル(ファイル名は「登録番号-121-回数(後期は前期との重複を避けるために回数の前に 1 を付け加える)」)にして Teams で提出してください。レポートの解答の一部が確認できない場合や PDF 形式でなければ不備となり、受付されず返却されます。
- ⑦ 提出期限の 1 週間後の 16:00 までは提出猶予期間になります。提出猶予期間に提出されたレポートは、不備や評価が 5 9 点以下の場合は即不合格となりますので、十分注意して提出してください。提出猶予期間に合格したレポートの評価は一律 6 0 点となります。
- ⑧ 各回のレポートが不合格となった時点で後期の単位は修得できません。以降のレポート提出、面接指導への出席は無効となります。
- ⑨ わからないところは、来校して(または電話で)直接質問してください。Teams での質問については即座に対応できないこともあるため、急ぐときは電話で確認してください。質問への回答は 8:30~16:55 に行います(通信制の休日を除く)。

7 成績評価について

前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性、の 3 つの観点で、レポート・定期考査・面接指導等をもとに総合的に評価します。

<科目担当者からの連絡>

<科目担当からの連絡>

- ① 評価基準については前・後期ともに以下の通りです。
 - ・観点 1 (知識・技能)と観点 2 (思考・判断・表現)は、定期考査の成績からそれぞれ 100 点満点で評価します。観点 3 (主体的に学習に取り組む態度)は、レポート得点の合計点を 50 点満点に、各レポートの「主体的に学習に取り組む態度」の問題 6 回分の合計点を 40 点満点に、出席回数を 10 点満点にそれぞれ換算し、100 点満点で評価します。
 - ・総合評点は、観点 1 を 40 点満点に、観点 2 を 30 点満点に、観点 3 を 30 点満点に換算した 3 観点の合計点で算出します。
- ② 答えのみを書いていて、必要な途中式や計算が書かれていない場合は再提出となります。
- ③ 「教科書」、「氏名バーコードシール」を忘れたら出席を認めません。
- ④ 教室を間違えた場合、出席認定はできません。
- ⑤ 面接時間は、レポート作成の時間ではありません。学習範囲の中で、特に重要な部分などを中心に学習を行います。面接時間中は、担当者の指示を聞いて取り組んでください。
- ⑥ 必要出席時数は 2 時間ですが、各レポートに 1 時間の出席、つまり 6 時間の出席を心掛けてください。

令和8年度 後期 123 数学Ⅱ

- 1 使用教科書 「新数学Ⅱ」(東京書籍)
- 2 使用学習書 「新数学Ⅱ」(NHK 出版)
- 3 使用教室 101教室
- 4 提出期限・面接授業等

※高校講座・・・NHK高校講座関連番号

No.	提出期限	学習内容	高校講座	教科書ページ	学習書ページ	面接指導実施日	
1	9月30日(水)	4章 指数関数と対数関数 1節 指数関数	51～56	p.86～p.95	p.144～p.166	9/17	9/24
2	10月14日(水)	4章 指数関数と対数関数 2節 対数関数	57～64	p.96～p.103	p.167～p.186	10/4	10/5
3	11月4日(水)	5章 微分と積分 1節 微分係数と導関数	65～72	p.106～p.115	p.188～p.200	10/22	11/1
4	11月18日(水)	5章 微分と積分 2節 導関数の応用 (極大・極小・最大・最小)	73～78	p.116～p.123	p.201～p.211	11/8	11/16
5	12月2日(水)	5章 微分と積分 3節 積分 (不定積分と定積分)	79～82	p.124～p.129	p.212～p.219	11/26	11/30
6	12月16日(水)	5章 微分と積分 3節 積分 (面積)	83～84	p.130～p.132	p.220～p.225	12/6	12/14

5 面接指導(授業)出席時の注意事項

- ①定刻より遅れて入室した場合は、出席を認めません。
- ②面接や校内でのルール及び教員の指示を守れない場合は出席を認めません。
- ③面接指導時間中、携帯電話等の使用や私語、飲食等はできません。
- ④居眠りやレポート作成などの行為は、授業に参加していないものとして出席を認めません。

6 レポートについて

- ①教科書・学習書・プリント等をよく見て自分で考えて解いてください。
・他の生徒のレポートを写すことや、他人にレポートを完成させること(代筆)は厳禁です。再提出または不合格など厳しい指導があります。
- ②期限までに提出してください。面接指導に積極的に出席し、レポート作成の参考にしましょう。
- ③「主体的に学習に取り組む態度」の問題はレポートの点数には含まず、別に評価します。未記入でも不備にはなりませんが、成績評価の一部になります。
- ④提出期限までに受付されたレポートで、解答が教科・科目の指示に従っていない場合や、評価が59点以下の場合は再提出になります。再提出の期限は提出期限の2週間後の16:00までです。
- ⑤レポート提出の際、空欄がないように注意してください。空欄が3つ以上あった場合は不備となり、受付されず返却されます。
- ⑥レポートに氏名バーコードシールを貼り、レポートのおもて・うらの全体が確認できるPDFファイル(ファイル名は「登録番号-123-回数(後期は前期との重複を避けるために回数の前に1を付け加える)」)にしてTeamsで提出してください。レポートの解答の一部が確認できない場合やPDF形式でなければ不備となり、受付されず返却されます。
- ⑦提出期限の1週間後の16:00までは提出猶予期間になります。提出猶予期間に提出されたレポートは、不備や評価が59点以下の場合は即不合格となりますので、十分注意して提出してください。提出猶予期間に合格したレポートの評価は一律60点となります。
- ⑧各回のレポートが不合格となった時点で後期の単位は修得できません。以降のレポート提出、面接指導への出席は無効となります。
- ⑨わからないところは、来校して(または電話で)直接質問してください。Teamsでの質問については即座に対応できないこともあるため、急ぐときは電話で確認してください。質問への回答は8:30～16:55に行います(通信制の休日を除く)。

7 成績評価について

前期・後期の成績は、(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性、の3つの観点で、レポート・定期考査・面接指導等をもとに総合的に評価します。

<科目担当からの連絡>

- ①評価基準については前・後期ともに以下の通りです。
・観点1(知識・技能)と観点2(思考・判断・表現)は、定期考査の成績からそれぞれ100点満点で評価します。観点3(主体的に学習に取り組む態度)は、レポート得点の合計点を50点満点、各レポートの「主体的に学習に取り組む態度」の問題6回分の合計点を40点満点、出席回数を10点満点にそれぞれ換算し、100点満点で評価します。
・総合評点は、観点1を40点満点、観点2を30点満点、観点3を30点満点に換算した3観点の合計点で算出します。
- ②答えのみを書いていて、必要な途中式や計算が書かれていない場合は再提出となります。
- ③「教科書」、「氏名バーコードシール」を忘れたら出席を認めません。
- ④教室を間違えた場合、出席認定はできません。
- ⑤面接時間は、レポート作成の時間ではありません。学習範囲の中で、特に重要な部分などを中心に学習を行います。面接時間中は、担当者の指示を聞いて取り組んでください。
- ⑥必要出席時数は2時間ですが、各レポートに1時間の出席、つまり6時間の出席を心掛けてください。

令和8年度後期 124 数学A

- 1 使用教科書 「改訂版 新数学A」(東京書籍)
- 2 使用学習書 「新数学A」(NHK出版)
- 3 使用教室 306教室(1,2,5,6,9,10組の生徒) 305教室(3,4,7,8,11,12組,併修,特科の生徒)
- 4 提出期限・面接指導実施日等

No.	提出期限	学習内容	高校講座	教科書ページ	学習書ページ	面接指導実施日	
1	9月30日(水)	1章 場合の数と確率 1節 場合の数	2~6	4~15	8~28	9/13	9/24
2	10月14日(水)	1章 場合の数と確率 1節 場合の数	7~9	16~21	29~37	10/4	10/5
3	11月4日(水)	1章 場合の数と確率 2節 確率	10~12	22~29	38~46	10/19	10/22
4	11月18日(水)	1章 場合の数と確率 2節 確率	13~16	30~37	47~61	11/8	11/12
5	12月2日(水)	2章 図形の性質 1節 平面図形の基礎/2節 三角形の性質	17~23	40~55	64~89	11/26	11/30
6	12月16日(水)	2章 図形の性質 2節 三角形の性質/3節 円の性質	24~29	56~69	90~107	12/6	12/14

※高校講座・・・NHK高校講座関連番号

5 面接指導出席時の注意

- ① 開始時刻に遅れて入室した場合、出席は認められません。
- ② 面接指導や校内でのルール、教員の指示を守れない場合、出席は認められません。
- ③ 携帯電話等の使用や私語、飲食等はできません。
- ④ 居眠りやレポート作成などの行為があった場合、出席は認められません。

6 レポートについて

- ① 教科書・学習書・プリント等をよく見て自分で考えて解いてください。他の生徒のレポートを写すことや、他人にレポートを完成させること(代筆)は厳禁です。再提出または不合格など厳しい指導があります。
- ② 期限までに提出してください。面接指導に積極的に出席し、レポート作成の参考にしましょう。
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」の問題はレポートの点数には含まず、別に評価します。未記入でも不備にはなりませんが、成績評価の一部になります。
- ④ 提出期限までに受付されたレポートで、解答が教科・科目の指示に従っていない場合や、評価が5.9点以下の場合は再提出になります。再提出の期限は提出期限の2週間後の16:00までです。
- ⑤ レポート提出の際、空欄がないように注意してください。空欄が3つ以上あった場合は不備となり、受付されず返却されます。
- ⑥ レポートに氏名バーコードシールを貼り、レポートのおもて・うらの全体が確認できるPDFファイル(ファイル名は「登録番号-124-回数(後期は前期との重複を避けるために回数の前に1を付け加える)」)にしてTeamsで提出してください。レポートの解答の一部が確認できない場合やPDF形式でなければ不備となり、受付されず返却されます。
- ⑦ 提出期限の1週間後の16:00までは提出猶予期間になります。提出猶予期間に提出されたレポートは、不備や評価が5.9点以下の場合は即不合格となりますので、十分注意して提出してください。提出猶予期間に合格したレポートの評価は一律6.0点となります。
- ⑧ 各回のレポートが不合格となった時点で後期の単位は修得できません。以降のレポート提出、面接指導への出席は無効となります。
- ⑨ わからないところは、来校して(または電話で)直接質問してください。Teamsでの質問については即座に対応できないこともあるため、急ぐときは電話で確認してください。質問への回答は8:30~16:55に行います(通信制の休日を除く)。

7 成績評価について

前期・後期の成績は(1)知識・技能、(2)思考・判断・表現、(3)主体性、の3つの観点で、レポート・定期考査・面接指導等をもとに総合的に評価します。

<科目担当者からの連絡>

- ① 評価基準については前・後期ともに以下の通りです。
 - ・観点1(知識・技能)と観点2(思考・判断・表現)は、定期考査の成績からそれぞれ100点満点で評価します。観点3(主体的に学習に取り組む態度)は、レポート得点の合計点を50点満点、各レポートの「主体的に学習に取り組む態度」の問題6回分の合計点を40点満点、出席回数を10点満点にそれぞれ換算し、100点満点で評価します。
 - ・総合評点は、観点1を40点満点、観点2を30点満点、観点3を30点満点に換算した3観点の合計点で算出します。
- ② レポートの【解答】には答を出すまでの計算や説明を書いてください。【解答】が書かれていない場合は再提出となります。
- ③ 「教科書」、「氏名バーコードシール」を忘れたら出席を認めません。
- ④ 教室を間違えた場合、出席認定はできません。
- ⑤ 面接時間は、レポート作成の時間ではありません。学習範囲の中で、特に重要な部分などを中心に学習を行います。面接時間中は、担当者の指示を聞いて取り組んでください。
- ⑥ 必要出席時数は2時間ですが、各レポートに1時間の出席、つまり6時間の出席を心掛けてください。

NHKテレビ 高校講座 数学 I
2026年度 年間放送計画表

Eテレ 月曜日 午前10:20～10:40

※ この番組は、前半段の再放送です。
※ 放送時刻は録画放送や特別番組などで変更になる場合があります。その際は番組ホームページでお知らせします。

放送日	タイトル	学習のポイント
4/13	1 ガイダンス、循環小数	● 勉強のしかた ● 進捗状況 (取、果、取) ● 循環小数
20	2 式の展開	● 式の展開の基本 ● 乗法公式を知る ● 乗法公式による式の展開
27	3 因数分解	● 乗法公式の逆用 ● 因数分解の基本 ● 乗法公式を使って因数分解をする
5/ 4	4 式の展開と因数分解の応用	● 式の展開の応用 ● たすき掛けによる因数分解 ● 因数分解の応用
11	5 実数、有理数、無理数	● $\sqrt{\quad}$ の意味 ● $\sqrt{\quad}$ を使う ● $\sqrt{\quad}$ の乗法
18	6 ルートの基本計算	● $\sqrt{\quad}$ の加法 ● $\sqrt{\quad}$ の乗法 ● $\sqrt{\quad}$ の加減の混合
25	7 有理化	● $\sqrt{\quad}$ の除法 ● 有理化とは ● 有理化の実践
6/ 1	8 無理数の近似値	● 平方根とは ● 平方根の表の使い方 ● 身の回りにある長さを測る
8	9 1次不等式を解く	● 不等式とは ● 1次不等式の解き方 ● 文章を含む1次不等式
15	10 1次方程式・1次不等式の応用	● 1次方程式の文章題 ● 1次不等式の文章題 ● 連立1次不等式
22	11 関数	● 1次関数 ● 2次関数 ● コンピューターでグラフをかく
29	12 2次関数の頂点	● 関数の平行移動の公式 ● 平方完成 ● 2次関数の頂点
7/ 6	13 2次関数のグラフをかく	● 平方完成でグラフをかく ● 因数分解でグラフをかく ● 2次関数のグラフの性質
13	14 2次関数の最大値・最小値	● 関数の最大値、最小値 ● 定義域とは ● 定義域のある関数の最大値、最小値
20	15 2次関数のグラフを応用する	● 2次関数の対称軸移動 ● 2次関数の最大、最小の応用 ● 2次関数の応用
27	16 2次方程式を解く	● 方程式とは ● 2次方程式を因数分解で解く ● 2次方程式を解の公式で解く
夏期講座 8月3日(月)～8月28日(金) 高校講座全体から選んだ学習のための再放送などを 科目の時間枠をはなれて放送します。		
8/31	17 グラフと2次方程式	● 2次方程式と2次関数の関係 ● 2次関数のグラフとx軸の共有点の座標 ● 2次関数のグラフとx軸の位置関係
9/ 7	18 2次方程式の応用	● 条件から方程式を立てる ● 文章題を2次方程式で解く ● 2次方程式の応用の確認
14	19 2次不等式	● 2次不等式の考え方 ● 2次不等式と2次関数の関係 ● 2次不等式を解く

※ 「タイトル/学習のポイント」は、
制作の都合で変更される場合があります。

21	20 2次不等式の応用	● 2次方程式の実数条件 ● 連立不等式 ● 2次不等式の文章題
28	21 2次関数を情報機器でかく	● 2次関数を情報機器でかく ● 2次関数の変化をみる ● 2次関数でデザインする
10/ 5	22 鈍角の三角比の定義	● 相似な三角形 ● 正弦、余弦、正接 ● 三角比の役割
12	23 三角比の相互関係	● サインとコサインの2乗の和 ● 三角比の相互関係を使う
19	24 鈍角の三角比	● 鋭角の三角比を使う ● 鈍角の三角比を使う
26	25 三角形の面積	● 三角比を用いる三角形の面積 ● 三角形の面積の公式 ● 三角形面積の公式の利用
11/ 2	26 正弦定理	● 正弦定理とは ● 正弦定理の使い方 ● 三角形の外接円の半径を求める
9	27 余弦定理	● 余弦定理とは ● 余弦定理の使い方 ● 正弦定理と余弦定理の使い分け
16	28 三角比と図形の計量	● 正弦定理や余弦定理を実際に使う ● 正多角形について考える ● 三角比の表を使う
23	29 三角形の形状	● 三角形の成立条件 ● 正弦定理から三角形の形状を知る ● 余弦定理から三角形の形状を知る
30	30 立体図形への応用	● 立体図形に三角比を使う ● 立体図形に正弦・余弦定理を使う
12/ 7	31 いろいろな高さを測る	● 身長を測る ● 木の高さを測る ● 建築物の高さを測る
14	32 平均	● 平均の意味 ● 平均 ● いろいろな平均
21	33 分散、標準偏差	● 分散を求める ● 標準偏差を求める ● 分散・標準偏差からわかること
冬期講座 12月28日(月)～1月8日(金) 高校講座全体から選んだ学習のための再放送などを 科目の時間枠をはなれて放送します。		
1/ 11	34 散布図	● 散布図とは ● 散布図を作る ● 散布図を読む
18	35 相関係数	● 相関係数とは ● 相関係数を求めること ● 相関係数からわかること
25	36 表計算ソフト	● 表計算ソフトの関数 ● テーブル
2/ 1	37 仮設検定	● 仮設検定 ● 帰無仮説 ● 対立仮説
8	38 いろいろな統計量	● テーブルを求める ● テーブルをまとめる ● テーブルを分析する
15	39 集合	● 集合 ● ベン図 ● カルノー図
22	40 命題	● 命題 ● 命題と論理 ● 必要条件、十分条件
春期講座 3月1日(月)～4月2日(金) 高校講座全体から選んだ学習のための再放送などを 科目の時間枠をはなれて放送します。		

NHK ラジオ 高校講座 数学Ⅱ

2026 年度 年間放送計画表

FM
火曜 日 (月曜深夜)・水曜 日 (火曜深夜) 午前 3:20 ~ 3:40

※この番組は、新年度の開校式です。
※放送内容は変更される場合があります。
※その際は番組ホームページでお知らせします。

放送日	タイトル	学習のポイント
4/7 (火)	1 入門講座 広がる数の世界の魅力	①無理数 ②実数 ③新たな数の拡張
8 (木)	2 3 次乗公式と因数分解 (1)	① $(a+b)^2$ と $(a-b)^2$ の展開 ② $(a+b)^3$ と $(a-b)^3$ の展開 ③乗法公式 ④因数分解の公式
14 (水)	3 3 次乗公式と因数分解 (2)	① a^3+b^3 と a^3-b^3 の因数分解 ②因数分解の公式 ③因数分解の公式の活用
15 (木)	4 二項定理	①パスカルの三角形 ②記号 nCr の意味 ③二項定理
21 (火)	5 分数式とその計算 (1)	①分数の計算 ②分数式とその約分 ③乗法と除法
22 (水)	6 分数式とその計算 (2)	①分母が等しい場合の加法と減法 ②通分 ③分母が異なる場合の加法と減法
28 (火)	7 複素数 (1)	①虚数 ②虚数単位 ③複素数
29 (水)	8 複素数 (2)	①複素数の乗除 ②複素数の計算 ③共役な複素数
5/5 (火)	9 2 次方程式	①2 次方程式の解の種類 ②判別式と解の種類 ③2 次方程式の解の利便
6 (水)	10 解と係数の関係	①2 次方程式の解と係数の関係 ②解と係数の関係の活用 ③与えられた 2 つの数を解とする 2 次方程式
12 (火)	11 整式の除法	①整式の除法 ②整式の除法 ③ $(a+b)(a-b)(a^2+ab+b^2)$
13 (水)	12 因数定理	①剰余の定理 ②因数定理 ③因数定理を用いた因数分解
19 (火)	13 高次方程式 (1)	①高次方程式 ②因数分解による解法 ③共通因数の活用 ④因数分解による解法 ⑤ a^2-b^2 の因数分解の活用
20 (水)	14 高次方程式 (2)	①因数分解による解法 ②文字で置き換える ③因数定理の活用 ④因数定理を用いた解法
26 (火)	15 等式の証明	①等式の証明とは？ ②等式 $A=B$ の証明方法 ③条件がついていると等式の証明
27 (水)	16 不等式の証明	①不等式 $A>B$ の証明方法 ②相加平均と相乗平均 ③相加平均と相乗平均の関係を用いた不等式の証明
6/2 (火)	17 直線上の点の座標 (1)	①直線と座標 ②2 点間の距離 ③線分の内分
3 (水)	18 直線上の点の座標 (2)	①内分点と外分点 ②内分点の座標とその求め方 ③外分点の座標とその求め方
9 (火)	19 平面上の点の座標 (1)	①座標平面の点の座標 ②座標平面の点の座標
10 (水)	20 平面上の点の座標 (2)	①三角形の形状 ②平面上の内分点の座標 ③内分点の座標の求め方
16 (火)	21 平面上の点の座標 (3)	①平面上の外分点の座標 ②三角形の重心とは？ ③三角形の重心の座標の求め方
17 (水)	22 直線の方程式 (1)	① $y=mx+n$ で表される直線 ② $ax+by+c=0$ で表される直線 ③1 点を通り、傾きが m の直線の方程式
23 (火)	23 直線の方程式 (2)	①2 点を通る直線の傾き ②2 点を通る直線の方程式 ③傾きが平行な直線

※「タイトル」学習のポイント」は、制作の過程で変更になる場合があります。

24 (火)	24 直線の関係 (1)	①直線の関係とは？ ②直線の方程式の解 ③直線の関係の求め方
30 (水)	25 直線の関係 (2)	①直線の関係 ②傾きが等しいことの意味 ③直線の方程式
7/1 (火)	26 直線の関係 (3)	①傾きが等しいことの意味 ②直線の方程式
7 (水)	27 円の方程式 (1)	①円とは？ ②円の方程式 ③円の方程式の求め方
8 (木)	28 円の方程式 (2)	①円の中心と半径 ②円の方程式の求め方 ③円の方程式の活用
14 (水)	29 円の方程式 (3)	①円の方程式 ②円の方程式の活用 ③円の方程式の活用
15 (木)	30 円と直線 共有点の座標	①円と直線の共有点 ②共有点の座標と 2 次方程式 ③判別式と共有点の座標
21 (火)	31 不等式の表す領域 (1)	①不等式の表す領域とは？ ②不等式と直線の上側・下側 ③領域の表示とは？
22 (水)	32 不等式の表す領域 (2)	①不等式の表す領域とは？ ②不等式と直線の上側・下側 ③領域の表示とは？
28 (火)	33 不等式の表す領域 (3)	①不等式の表す領域とは？ ②不等式と直線の上側・下側 ③領域の表示とは？
29 (水)	34 連立不等式の表す領域	①連立不等式の表す領域とは？ ②連立不等式の表す領域の表示
夏期講座 8月4日(火) ~ 8月30日(日)		
9/1 (火)	35 一般角 (1)	①一般角とは？ ②一般角の表し方 ③一般角の表し方
2 (水)	36 一般角 (2)	①一般角の表し方 ②一般角の表し方 ③一般角の表し方
8 (火)	37 三角関数 (1)	①三角関数の定義 ②三角関数の定義 ③三角関数の定義
9 (水)	38 三角関数 (2)	①三角関数の定義 ②三角関数の定義 ③三角関数の定義
15 (火)	39 三角関数の相互関係 (1)	①三角関数の相互関係 ②三角関数の相互関係 ③三角関数の相互関係
16 (水)	40 三角関数の相互関係 (2)	①三角関数の相互関係 ②三角関数の相互関係 ③三角関数の相互関係
22 (火)	41 三角関数のグラフ (1)	①三角関数のグラフ ②三角関数のグラフ ③三角関数のグラフ
23 (水)	42 三角関数のグラフ (2)	①三角関数のグラフ ②三角関数のグラフ ③三角関数のグラフ
29 (火)	43 三角関数の性質 (1)	①三角関数の性質 ②三角関数の性質 ③三角関数の性質
30 (水)	44 三角関数の性質 (2)	①三角関数の性質 ②三角関数の性質 ③三角関数の性質
10/6 (火)	45 加法定理 (1)	①加法定理とは？ ②加法定理の活用 ③加法定理の活用
7 (水)	46 加法定理 (2)	①加法定理とは？ ②加法定理の活用 ③加法定理の活用
13 (火)	47 加法定理の応用 (1)	①加法定理の活用 ②加法定理の活用 ③加法定理の活用
14 (水)	48 加法定理の応用 (2)	①加法定理の活用 ②加法定理の活用 ③加法定理の活用
20 (火)	49 加法定理 (3)	①加法定理とは？ ②加法定理の活用 ③加法定理の活用

2026 NHK 高校講座 (数学Ⅱ)

21 (火)	50 加法定理 (2)	①加法定理とは？ ②加法定理の活用 ③加法定理の活用
27 (水)	51 指数の拡張 (1)	①指数の拡張 ②指数の拡張 ③指数の拡張
28 (木)	52 指数の拡張 (2)	①指数の拡張 ②指数の拡張 ③指数の拡張
11/3 (火)	53 累乗根 (1)	①累乗根とは？ ②累乗根の活用 ③累乗根の活用
4 (水)	54 累乗根 (2)	①累乗根とは？ ②累乗根の活用 ③累乗根の活用
10 (火)	55 指数関数とそのグラフ (1)	①指数関数とは？ ②指数関数のグラフ ③指数関数のグラフ
11 (水)	56 指数関数とそのグラフ (2)	①指数関数とは？ ②指数関数のグラフ ③指数関数のグラフ
17 (火)	57 対数 (1)	①対数とは？ ②対数の活用 ③対数の活用
18 (水)	58 対数 (2)	①対数とは？ ②対数の活用 ③対数の活用
24 (火)	59 対数の性質 (1)	①対数の性質 ②対数の性質 ③対数の性質
25 (水)	60 対数の性質 (2)	①対数の性質 ②対数の性質 ③対数の性質
12/1 (火)	61 対数関数とそのグラフ (1)	①対数関数とは？ ②対数関数のグラフ ③対数関数のグラフ
2 (水)	62 対数関数とそのグラフ (2)	①対数関数とは？ ②対数関数のグラフ ③対数関数のグラフ
8 (火)	63 常用対数 (1)	①常用対数とは？ ②常用対数の活用 ③常用対数の活用
9 (水)	64 常用対数 (2)	①常用対数とは？ ②常用対数の活用 ③常用対数の活用
15 (火)	65 平均変化率	①平均変化率とは？ ②平均変化率の活用 ③平均変化率の活用
16 (水)	66 微分係数 (1)	①微分係数とは？ ②微分係数の活用 ③微分係数の活用
22 (火)	67 微分係数 (2)	①微分係数とは？ ②微分係数の活用 ③微分係数の活用
23 (水)	68 導関数 (1)	①導関数とは？ ②導関数の活用 ③導関数の活用
冬期講座 12月29日(火) ~ 1月10日(日)		
1/12 (火)	69 導関数 (2)	①導関数とは？ ②導関数の活用 ③導関数の活用
13 (水)	70 導関数 (3)	①導関数とは？ ②導関数の活用 ③導関数の活用
19 (火)	71 接線 (1)	①接線とは？ ②接線の活用 ③接線の活用
20 (水)	72 接線 (2)	①接線とは？ ②接線の活用 ③接線の活用
26 (火)	73 関数の増加・減少 (1)	①関数の増加・減少 ②関数の増加・減少 ③関数の増加・減少
27 (水)	74 関数の増加・減少 (2)	①関数の増加・減少 ②関数の増加・減少 ③関数の増加・減少
2/2 (火)	75 関数の極大・極小 (1)	①関数の極大・極小 ②関数の極大・極小 ③関数の極大・極小

3 (火)	76 関数の極大・極小 (2)	①関数の極大・極小 ②関数の極大・極小 ③関数の極大・極小
9 (水)	77 関数のグラフ	①関数のグラフ ②関数のグラフ ③関数のグラフ
10 (火)	78 関数の最大・最小	①関数の最大・最小 ②関数の最大・最小 ③関数の最大・最小
16 (水)	79 不定積分 (1)	①不定積分とは？ ②不定積分の活用 ③不定積分の活用
17 (火)	80 不定積分 (2)	①不定積分とは？ ②不定積分の活用 ③不定積分の活用
23 (水)	81 定積分 (1)	①定積分とは？ ②定積分の活用 ③定積分の活用
24 (火)	82 定積分 (2)	①定積分とは？ ②定積分の活用 ③定積分の活用
3/2 (火)	83 面積 (1)	①面積とは？ ②面積の活用 ③面積の活用
3 (水)	84 面積 (2)	①面積とは？ ②面積の活用 ③面積の活用
春期講座 3月9日(火) ~ 4月4日(日)		

NHKテレビ 高校講座 数学A
2026年度 年間放送計画表

Eテレ 金曜日 午前10:20～10:40

※この番組は、前年度の再放送です。
※放送時刻は放送曜日・放送時間などで変更になる場合があります。その際は本ホームページでお知らせいたします。

放送日	タイトル	学習のポイント
4/17	ガイダンス	●表現を学ぶ ●図形化する ●カブトムシする
24	1 見える数学	●集合 ●要素
5/ 1	2 集合と要素の個数	●集合 ●個数の表し方 ●文字で置き換え ●表を使う ●樹形図を使う
8	3 個数の数え方	●和の法則 ●積の法則 ●和の法則と積の法則の利用
15	4 場合の数の和の法則と積の法則	●順列 ● n 、 r ● P 、 C の使い方
22	5 順列	● n 個のものをすべて並べる順列 ●重複 ●条件のついた順列
29	6 順列の利用	●重複順列 ●円順列 ●じゅず順列
6/ 5	7 いろいろな順列	●順列と組合せの違い ● n 、 r ● C 、 P の違い
12	8 組合せ	●組合せの利用 ●積の法則との組合 ●超分け
19	9 組合せの利用	●試行と事象 ●確率の意味 ●確率の計算
26	10 事象と確率	●同時に起こる・起こらない ●和事象の確率 ●積事象の確率
7/ 3	11 排反事象の確率	●余事象の確率 ●余事象を使う・使わない
10	12 余事象の確率	●独立な試行・独立ではない試行 ●2つの独立な試行の確率 ●3つ以上の独立な試行の確率
17	13 独立な試行の確率	●反復試行 ●反復試行の確率 ● n 回以上の確率
24	14 反復試行の確率	●条件付き確率 ●積事象 ●確率の乘法定理
31	15 条件付き確率	●期待値 ●期待値の定義式 ●期待値の利用
夏期講座 8月3日(月)～8月28日(金) 高校講座全6から選んだ授業のための再放送などを 科目の時間枠をはなれて放送します。		
9/ 4	17 直線と角	●内角と外角 ●対頂角・同位角・錯角 ●平行線の性質
11	18 多角形の角	●三角形の内角と外角 ●多角形の内角と外角 ●二等辺三角形 ●三角形の合同と相似 ●線分の比 ●四角形の合同条件
18	19 三角形の合同と相似	

※「タイトル/学習のポイント」は、
番組への話題や内容に関する紹介文になります。

25	20 基本の作図と利用	●垂直二等分線・垂直の作図 ●角の二等分線の作図 ●いろいろな大きさの作図
10/ 2	21 三角形の辺の比	●三角形と比 ●中点連結定理 ●中点連結定理の利用
9	22 三角形の重心	●中線 ●三角形の重心 ●三角形の重心の性質
16	23 三角形の外心と内心	●三角形の外心 ●三角形の内心 ●三角形の外心と内心の性質
23	24 角の二等分線と線分の比	●角の二等分線と線分の比 ●角の二等分線と線分の比の証明 ●角の二等分線と線分の比の性質
30	25 円の接線	●三平方の定理 ●円の接線 ●円の外にある1点からの接線
11/ 6	26 円周角の定理	●中心角・円周角 ●円周角の定理 ●円周角の定理の逆
13	27 円に内接する四角形	●円に内接する四角形の性質 ●円に内接する四角形の性質 ●四角形が円に内接する条件
20	28 接線と弦のつくる角	●接線と弦のつくる角 ●接線と弦のつくる角の定理 ●接線と弦のつくる角の定理の利用
27	29 方べきの定理と2つの円	●円の内部で交わるタイア ●円の外部で交わるタイア ●2つの円
12/ 4	30 直線や平面の位置関係	●2直線の関係 ●2平面の関係 ●直線と平面の関係
11	31 多面体	●多面体 ●正多面体 ●オイラーの多面体定理
18	32 数の表し方のしくみ	●10進法 ●2進法 ●2進法の計算
25	33 位置を表す	●座標 ●平面上の位置を表す ●空間内の点の位置を表す
冬期講座 12月28日(月)～1月8日(金) 高校講座全6から選んだ授業のための再放送などを 科目の時間枠をはなれて放送します。		
1/15	34 約数と倍数	●約数と倍数 ●素因数分解
22	35 最大公約数と最小公倍数	●公約数と最大公約数 ●公倍数と最小公倍数 ●最大公約数と最小公倍数の利用
29	36 ユークリッドの互除法	●わり算と最大公約数の関係 ●ユークリッドの互除法
2/ 5	37 はかる	●長さをはかる ●重さをはかる ●時間をはかる
12	38 数や図形で遊ぼう	●魔法術 ●図形のふしぎ ●パズルをつくらう
19	39 規則性・論理で遊ぼう	●パズルの謎 ●論理的な考え方 ●論理の表し方
26	40 和算で遊ぼう	●和算 ●和算 ●いろいろな和算から学ぶ
春期講座 3月1日(月)～4月2日(金) 高校講座全6から選んだ授業のための再放送などを 科目の時間枠をはなれて放送します。		